

2021 年 4 月 7 日

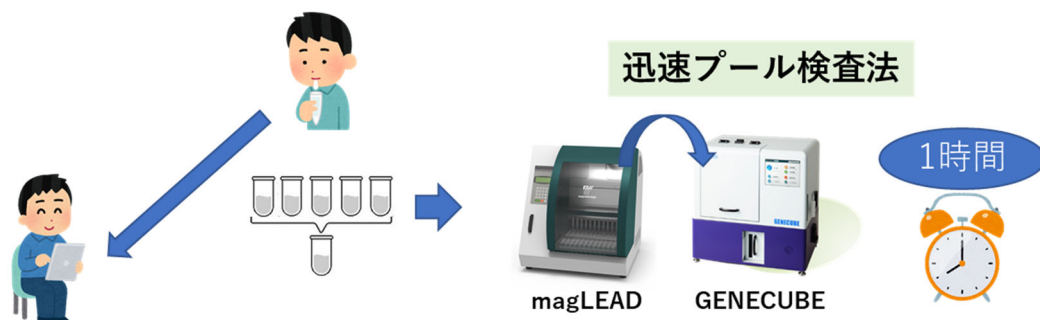
**プレジジョン・システム・サイエンス(株)と東洋紡(株)による
 新型コロナウイルスに対する迅速プール検査法の開発・実用化について**

このたび、プレジジョン・システム・サイエンス株式会社(以下 PSS 社)と当社が協力し、新型コロナウイルスに対する迅速プール検査法の開発・実用化に成功致しましたので、お知らせいたします。

検体プール検査法は、唾液などの検体を複数混合して検査するもので、検査数を大幅に増やすことができます。複数検体を同時に処理できる一方、検体の前処理に人手と時間を要することや、プール検体で陽性を検出した場合の再検作業などにより、検体採取から結果報告までに約 2 日を要していました。

今回、当社が販売する遺伝子解析装置「GENECUBE®^{※1}」(モデル C)に対して PSS 社が販売する全自動核酸抽出装置「magLEAD 12gC^{※2}」を連携し、最適化させたプログラムを開発することで、唾液検体に対して人の手をほとんど用いることなく、検体到着から結果報告まで最短約 1 時間の迅速プール検査を実現致しました^{※3}。

本検査法は、チップ操作が不要であることに加え、設置幅が約 1m と省スペースであり、1 時間に 120 件程度の処理を行うことができます。また、既存の「magLEAD 12gC」に専用カード^{※4}、ラックアダプター^{※4}を搭載するのみで速やかな運用開始が可能であります^{※5}。



- ※1 「GENECUBE®」(モデル C)は、最短約 25 分、最大 12 検体、24 テストを同時測定可能です。
- ※2 「magLEAD」は PSS 社の登録商標です。
- ※2 「magLEAD 12gC」は、最短約 27 分、最大 12 検体を同時処理可能です。
- ※3 本検査法は、筑波大学 医学医療系 鈴木広道教授が発案し、同教授の指導の下で開発されました。
- ※4 「magLEAD 12gC」専用カード、ラックアダプターは、PSS 社より 4 月中旬発売予定です。
- ※5 検体プール検査法実施に際しては、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 検体プール検査法の指針」に準拠する必要があります。

<p><製品に関するお問い合わせ先> 東洋紡株式会社 診断システム事業部 お問い合わせフォーム https://www.toyobo.co.jp/seihin/dsg/inquiry/</p>	<p><リリースに関するお問い合わせ先> 東洋紡株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ (本社) 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443 (東京) 電話:03-6887-8827 FAX:03-6887-8829 E-mail: pr_g@toyobo.jp</p>
--	--